

「白石でっち奉公」事業受入先一覧

アウトロー 本郷店	株式会社北海道新聞社
あきらの美空室	株式会社ホンダカーズ札幌中央 南郷通店
アサヒビル株式会社 北海道工場	株式会社もりもと 南郷通店
朝日ベストライフ(株) あさひガーデン デイサービスセンター	株式会社ヤマハミュージッククリエーティング札幌店
朝日ベストライフ(株) グループホームあさひの家	株式会社ラルズ スーパーアークス菊水店
アジアンスープカリーベース	株式会社ラルズ ラルズマート新ごく店
アスク白石保育園	救世軍 菊水上町保育園
アトリエチャコ	公益財団法人札幌市公園緑化協会 川下公園
イオン北海道株式会社 イオン東札幌店	札幌市青葉保育園
一般財団法人 さっぽろ健康スポーツ財団 札幌国際交流館	札幌市北児童会館
医療法人 えがみ歯科医院	札幌市菊水乳保育園
医療法人 白石中央病院	札幌市菊水元町地区センター
医療法人 新札幌慈心外科病院	札幌市菊水やよい児童会館
医療法人 東札幌病院	札幌市白石地区センター図書室
医療法人 菊井会 札幌センチュリー病院	札幌市白石温水プール
医療法人社団 札幌歯科口腔外クリニック	札幌市白石区体育馆
医療法人社団 弘惠会 介護老人保健施設 生がい	札幌市白石区土木部維持管理課
医療法人社団 健生会 グループホーム生きがい2	札幌市白石区保育・子育て支援センター
医療法人社団 同仁会 長野病院	札幌市白石区民センター運営委員会
医療法人社団 佐藤記念病院	札幌市白石区役所
医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院	札幌市白石消防署・札幌市民防セセンター
大岡産業株式会社 札幌ゴルフセンター	札幌市白石東まちづくりセンター
介護老人保健施設 ぱだい樹	札幌市青少年科学館
学校法人大藤学園 札幌白樺幼稚園	札幌市東札幌図書館
学校法人大藤学園 本郷幼稚園	札幌市東札幌保育園
学校法人新善光寺学園 しろいし幼稚園	札幌市白石保育園
学校法人早坂学園 認定こども園 僕東	札幌市立きくすいもとまち幼稚園
学校法人北邦学園 東橋いかい認定こども園	サンピアザ水族館
株式会社アティフィ・ケイ介護付有料老人ホームみのり米里	社会福祉法人共栄会 グループホーム まいホーム川北
株式会社アレフ びっくりドンキー白石中央店	社会福祉法人愛と福音会 南郷保育園
株式会社アイリナント CafeJr. ラゾーナ札幌店	社会福祉法人石狩友愛福祉会 飛翔保育園
株式会社書番屋 カレーハウスCoCo壱番屋 白石北郷3条店	社会福祉法人石狩友愛福祉会 愛友北白石認定こども園
株式会社カステン ウエスタン・北郷店	社会福祉法人札幌光明園 まこと保育所
株式会社エルドール 平岡店	社会福祉法人札幌正義会 北堀すばる・保育園
株式会社札幌タクシードライブ事務別店	社会福祉法人札幌東川下「下福」社会 東川下ポッポ保育園
株式会社ジー・ティ・エス 匠の回転寿司○海 東札幌店	社会福祉法人常徳会 白石興正保育園
株式会社ジェイコム札幌	社会福祉法人清光会 双葉保育園
株式会社白石ゴム製作所	社会福祉法人星光福音会 北の星白石保育園
株式会社満美	社会福祉法人星光福音会 北の星東札幌保育園
株式会社ダイチ 白石神社前店	社会福祉法人太陽育生会 北郷ビノキオ保育園
株式会社デソーセールズ 北海道支社	社会福祉法人福美会 白石北保育園
株式会社どうやう かんかつ玉藻南郷店	社会福祉法人藤美福祉会 菊水元町第二保育園
株式会社東光ストア TSUTAYA南郷13丁目店	社会福祉法人藤美福祉会 菊水元町第一保育園
株式会社ピースエア あじさい東札幌デイサービスセンター	社会福祉法人北都福祉会 認定こども園 北都
株式会社ホクトスポーツ	社会福祉法人みき福祉会 白うさご保育園
株式会社北洋銀行 南郷通支店	生活協同組合コープさっぽろ きたごう店
株式会社北海道アルパイト情報社	

白石区ふるさと会

白石区を人情味と風格あふれるすばらしい街に育てていくことを目的として昭和51年3月に設立された団体で、区内の町内会や各種団体、企業などの団体会員と個人会員で構成されています。

毎年夏に開催される白石区ふるさとまつりや月寒川にぎわい川まつりのほか、白石でっち奉公、白石区中学生の主張発表会、子どもワンダーランドなど、様々な行事を実施しています。

また、各地区の文化・体育事業、青少年健全育成活動への助成なども行い、白石区のまちづくりを支えています。



白石区ふるさとまつり



月寒川にぎわい川まつり



白石区中学生の主張発表会



子どもワンダーランド



さっぽろ市
02-00-118-2506
30-21-547
SAPP_RO

平成
30年度

白石区ふるさと会／札幌市白石区

白石でっち奉公 奮闘記



平成30年度
児童・生徒受入先合計
152

他20企業

白石でっち奉公は、小・中学校の児童・生徒が、実際に就労体験をする事業です。

次代の白石を担う子どもたちに、地域で働くことを通して、学校や家庭ではできない体験をさせてあげたい。働くことの大切さや楽しさ、ふるさと白石の良さを知ってほしい。そのような想いから「白石でっち奉公」は誕生しました。

平成13年に白石区ふるさと会の主催で始まったこの事業は、「地域で子どもたちを育てよう」という趣旨が広く受け入れられ、現在は白石区ふるさと会と白石区が区内小中学校と協力して実施しています。平成30年度は、9校1,340人の児童・生徒が参加しました。

なお、この取り組みが子どもたちの「キャリア教育」の充実に効果があると認められ、白石区ふるさと会は、平成24年度「文部科学大臣表彰」(文部科学省)及び「キャリア教育推進連携表彰」(文部科学省、経済産業省)を受けました。

平成30年度白石でっち奉公 実施概要

◆実施日・参加校

9月19日	北都中学校	201名 (2年生)	11月 8日	白石中学校	156名 (2年生)
10月 3日	南郷小学校	78名 (5年生)	11月 9日	北白石中学校	231名 (2年生)
10月25日	東札幌小学校	71名 (6年生)	11月14日	米里中学校	138名 (2年生)
11月 1日	柏丘中学校	183名 (2年生)	11月20日	東白石中学校	155名 (2年生)

11月28日	幌東中学校	127名 (2年生)
--------	-------	------------

【参加者数】区内小中学生1,340名 【受入先】区内企業、団体、施設等152社

米里中学校

11月14日

《就労体験先》 北洋銀行南郷通支店

私たち中学生はあまり訪れる機会がない、銀行におじやみました。北洋銀行南郷通支店で副支店長に業務内容を教わり、実際に各部署を回って具体的な仕事についての説明も聞けました。銀行は、お金を預けたりおろしたりするだけの場所ではなく、暮らしに欠かせない重要な社会的役割を担っているところだということが学べてよかったです。



▲生後の質問に答える土田副支店長。「仕事にやりがいを感じるのは、どんなときですか?」の問いにはお客様に感謝の言葉をいたぐと、嬉しい、やりがいを感じますね!



▲大人の多くの人は日常的に使っているATMも、中学生にとっては初めて見、みんな興味津々です



▲記念台で、実際の帳票を記入体験。土田副支店長に、用紙の種類とその目的についても教わりました



▲ご用意いただいた「銀行の業務と役割」をテキストに学んだ後は、クイズでおさらい



▲沖田支店長(右)から「数ある企業の中からようこそ当行へ」と、お礼の言葉をいただき、名刺ももらうことができました



▲渡邊さん(右)と、茂野さん(左)から、この日の就労体験の進め方についてご説明いただきました



▲また制服に着替えて、「クリーパスポート」を読みながら、店員の心構えやお店の理念など基本的なことを学びました



▲トレイをもつてのなななか大変。左手の使い方や重心の位置など試行錯誤が続きます。吉田ヤコブさんのせりあとのう不安が……



▲手洗いはしっかりと60秒。アラームをセットしてから始めます



▲盛り付け体験後、そのまま昼食に。「おいしい!」といいながら、自分でも運びた生ごみを、業務用生ごみ処理機(発酵促進材製造装置)に入れているよ。時間かけて発酵・乾燥することで、体積は約5分の1になるといいます

銀行の社会的役割とお客様との接し方の大切さを学びました

北洋銀行南郷通支店は、地下鉄東西線白石駅直結の白石バスターミナルビル2階にあり、個人客から大手企業まで幅広い顧客を持っています。米里中学校2年の生徒4人をご指導いただいたのは、副支店長の土田哲士さん。就労体験は、生徒の質問に土田副支店長が答えることから始まりました。「仕事の上で大切にしていることは」の質問には「お客様が満足し、気持ちよくお帰りいただくことです」。さらに名刺を渡すときは「マナーを守り、明るく、元気よく。第一印象が大切」とレクチャー。相手を思いやり、好印象を与えることが、コミュニケーションの第一歩だと知りました。

模擬紙幣を使ったお札の数え方講習では、土田副支店長の手さばきに「早っ」と驚きの声も。緊張気味の生徒たちに、笑顔が生まれました。店頭では、ATMの操作や入金票など帳票類への記入を体験。初めてのことばかりでとまどう彼らを優しく見守るお客様のまなざしが印象的でした。再び席に着いて銀行の業務内容や社会的役割を学んだ後は、行内の各部署を回って具体的な仕事の内容についての説明を受けました。支店長の沖田宏一さんには「将来、ぜひ銀行を職業選択の一つにしてください」との言葉もいただき、銀行についてたくさんのこと学んだ4人でした。

何気ない接客の中にたくさんの気遣いが隠されていることを知りました

創業50周年の株式会社アレフが運営する、ハンバーグレストラン「びっくりドンキー白石中央店」に、幌東中学校2年の生徒6人が就労体験にうかがいました。「よく行くお店の仕事に興味がある」「接客を通じて人見知りを解消したい」など、それぞれの思いを胸にこの日を迎えた生徒たち。ご指導いただいたのは、株式会社アレフのエコチームリーダーの渡邊大介さんと、白石中央店の茂野朋昭さんです。店員としての心構えや、お店の理念などについて学んだ後は、実技にチャレンジ。トレイの持ち方やカップへの水のつぎ足し方、ワッショングと呼ばれるテーブルの後片付けなどの実習をしました。

そしてよいよ店内へ。お客様対応とワッショング、食器洗いの3班に分かれて、順番に一通り体験。来店客を案内したり、食事後のテーブルを片付けたり、とまどいながらも積極的に働いていました。

お昼は、自分で皿に盛り付けたハンバーグを平らげて小休止。午後からは、株式会社アレフが力を入れている環境に配慮する取り組みの一環として行っている、店から出る生ごみの処理方法についての話を聞き、実際にその体験もしました。

「自分が客ならどう接してもらいたいか」「自然環境維持のために何ができるか」など、多くのことを考え、学ぶことができた一日でした。

幌東中学校

11月28日

《就労体験先》 びっくりドンキー白石中央店

おいしいハンバーグが食べられる、びっくりドンキーで職場実習をしました。お客様を迎えたり、お水をついだりするのにも、覚えなければならないことがいっぱい。その一つ一つが、お客様が気持ちよく過ごせるようにとの心遣いと、自然環境への配慮だということが分かりました。

学んだことを、これから毎日に生かしていくたいと思います。



▲トレイをもつてのなななか大変。左手の使い方や重心の位置など試行錯誤が続きます。吉田ヤコブさんのせりあとのう不安が……



▲手洗いはしっかりと60秒。アラームをセットしてから始めます

